

総合情報

センターだより

CONTENTS

- 表紙 **ケルズの書**
- (i) 修学館 リサーチライブラリー機能充実!!
- (ii) ご存知ですか? データベース代行検索サービス!!
- 2・3 第4期情報基盤整備第2.1フェーズの概要
ウイルス検知ソフト(VirusScan)をご利用ください
- 4 INFORMATION・特別館外貸出期間のお知らせ

ケルズの書

今回は、本学図書館の貴重書庫に所蔵されている『The Book of Kells: fine art facsimile volume』(「ケルズの書複製版」)についてご紹介します。

「ケルズの書」は豪華な装飾が施された4冊の福音書で、マタイ伝、マルコ伝、ルカ伝、ヨハネ伝が収められています。アイルランドのトリニティ・カレッジ 図書館に約300年にわたって保管され最高の装飾写本の一つとして知られています。製作者は9世紀初めにヴァイキングの襲来でアイオーナ(スコットランド西方の島)からケルズ(ダブリンの北西)へ避難してきた修道僧であり、ラテン語で書かれた4つの福音書をもとにケルズの僧院で製作されました。本書にはケルト特有の渦巻き模様や人、動物が描かれ、ケルト美術の最高峰と言われています。ペラム(vellum)紙と呼ばれる牛の皮で作った子牛皮紙が使われているのが特徴で、一般的には子牛の皮を水に浸して毛や混ざり物を全て取り払って、日で乾燥させるものを指します。「ケルズの書」では製作するのに185頭の子牛が必要であったと計算され、このように大規模な牛群は修道院の富裕さを裏付けるものであるといえます。肉太で丸みを帯びた手書きの文字はアイルランドで4～5世紀に使われたアンシャル文字で、インクははるばる中東から輸入されたものが使われました。

ここで最も際立っているのは渦巻き模様で、キリストの御名に満ちる光を、修道士達はケルトのエネルギッシュな文様美術で表現しました。ケルズの書に現れるケルト渦巻き文様には「反転しぬれながら無限に連続・増殖する形」が一貫して守られているのが特徴です。これは渦と渦をつなぐとき、双方の回転方向を「反転させてつなぐ」トランペット・パターンという媒体がはめ込まれています。

「ケルズの書」はキリスト教美術とアルプス以北の異教美術の結合によって新しい扉を開き、ヨーロッパ美術の金字塔となったのです。

中世ヨーロッパの写本芸術の奇跡と称えられるこのページに「巨匠」はケルトの全文様を投入し、頭文字に顕れる「キリストの変容」を見事に視覚化したといえるでしょう。



第4期情報基盤整備第2.1フェーズの概要

第4期情報基盤整備第2.1フェーズが2002年4月から稼働します。今回の整備はBKCの情報教室と衣笠の洋洋館が中心となり、情報教室のパソコン及び周辺機器のリプレース、マルチメディアルームの増設、情報語学自習室の設置、無線LANシステムの整備など、キャンパスの情報環境が大きくリニューアルされます。

教室環境の標準化

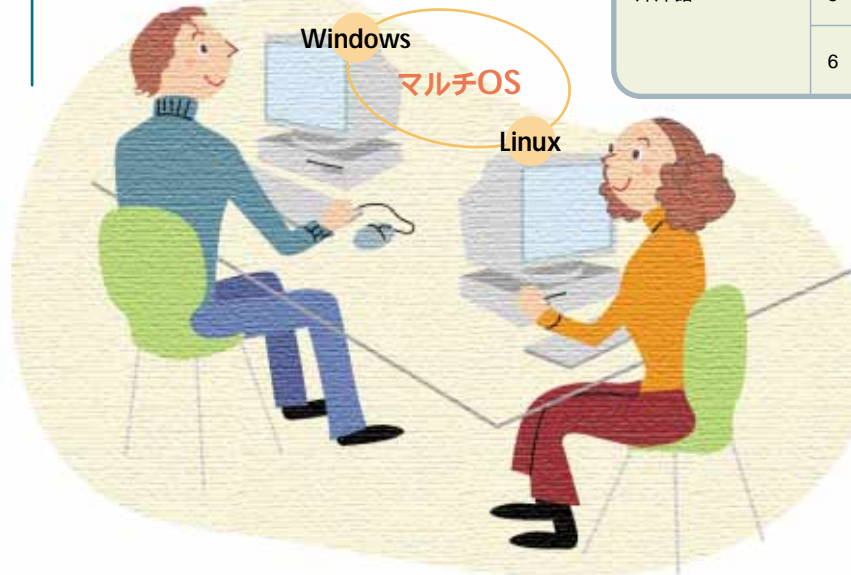
これまでは教室によって設置されているパソコンやインストールされているソフトが違っていました。第4期情報基盤整備が稼働後の教室は設置されるパソコンが共通になります。また、BKCではWindowsとLinuxのマルチOSが採用され、どの教室でもWindowsとLinuxが利用できる環境となります。これまでのように教室の設備にとらわれない、柔軟な教室利用が可能となります。これにともない、2002年4月から教室の名称が一部変更されます。

教室名称の変更

建物名	階	旧教室名	新教室名
エクセル1	2	共同計算機実験室1・2	共同計算機実験室1・2
プリズムハウス	2	語学演習室1・2	情報処理演習室P1・P2
	3	CAD/CG演習室1～4	マルチメディア演習室P1～P4
	3	情報処理演習室1～4	情報処理演習室P3～P6
コラーニングハウス	1	情報語学演習室4	情報語学演習室C1
	2	情報処理演習室5	マルチメディア演習室C1
	3	情報処理演習室6・7	情報処理演習室C1・C1
アクロスウイング	1	情報処理演習室8・9	情報処理演習室C3・C4
		プレゼンテーションルーム	マルチメディア演習室AC1
		情報語学演習室1～3	情報語学演習室AC1～AC3
		情報語学自習室	情報語学自習室
洋洋館	3	LL教室(961)	LL教室
	4	普通教室(971)	情報処理演習室1
		普通教室(972)	情報語学自習室
	5	普通教室(984)	マルチメディア演習室1
		普通教室(985)	情報語学演習室1
	6	普通教室(990)	マルチメディア演習室2
普通教室(991)		情報語学演習室2	

情報語学自習室の増設

BKCアクロスウイングにある情報語学自習室に加えて、衣笠にも洋洋館に情報語学自習室を設置します。CBT(Computer Based Training)に対応した自習環境を整えています。



マルチメディアルームの整備

学生の皆さんの自学自習環境として、存心館、アクロスウイングに引き続き、洋洋館にマルチメディアルームを新設します(Windows端末)。また、BKCでは現在のメディアセンター、メディアライブラリーのマルチメディアルームにそれぞれ情報端末を増設します(WindowsとLinuxのマルチOS搭載)。

	建物名	階	教室名	総台数
端末の増設場所	メディアセンター	1	マルチメディアルーム	122
	アクロスウイング	3	マルチメディアルーム	174
マルチメディアルームの新設場所	洋洋館	1	情報教育演習室	110



「総台数」とは、新増設・整備後の端末台数の総数を表わします(変更の可能性があります)。

無線LANシステムの整備

無線LANシステムはノートパソコンに無線LANカードを装着することで、コードレスで学内ネットワークにアクセスできます。すでに恒心館、洋洋館、エボック立命21などで整備していますが、今回は学生の皆さんの集まる学部ラウンジやサークルスペースなどを中心とした整備を行います。



無線LANシステム整備箇所(予定)

建物名	階	場所
存心館	1	共同談話室
	2	法学部学生共同研究室
以学館	1	コミュニケーションラウンジ
	2	アカデミックラウンジ
清心館	1	学生談話室 自治会室
研心館	1	キャリアセンター前
学生会館	-	全館
図書館	-	閲覧室
アクロスウイング	1	ラウンジスペース
リンクスクエア	2	ミーティングルーム、サークルスペース周辺
メディアライブラリー	-	閲覧室
メディアセンター	-	閲覧室

次は第3フェーズ!

2002年度は衣笠キャンパス中心の整備を計画しています。情報教室のリニューアルはもちろん、無線LANを全学的に整備し、学内の様々なところでの学内ネットワークへのアクセスを可能にします。より快適な情報環境の提供を目指します。

ウイルス検知ソフト(VirusScan)をご利用ください

最近、CodeRedやサーカム、Nimdaなどのコンピュータウイルスが流行しています。これらのウイルスは感染したPCだけでなく、ネットワークを介してさまざまなPCに感染する危険性があります。本学では、ネットワークアソシエイツ社「McAfee VirusScan」のサイトライセンスを取得しています。このライセンスにより、本学に所属している学生・教職員の所有するマシンであれば、学内・自宅を問わず利用することができます。ウイルスの流行を防ぐため、利用されているパソコンにウイルス検知ソフトをインストールしていただきますよう、お知らせします。

McAfee VirusScanの入手方法

RAINBOWホームページからダウンロード:プロバイダからでもRAINBOW-ID認証後可能です。
窓口配布CD-ROM:未使用のCD-Rと交換でお渡します。
FTPサイト(ftp.ritsumeai.ac.jp):RAINBOWへの接続が必要です。

DATファイルの更新について

McAfee VirusScanは、ウイルス情報のDATファイルを常に最新版にアップデートすることで、新種ウイルスに対応することができます。そのため、次々に現れる新種ウイルスに対応する為に、DATファイルの更新が必要です。この更新を行わないと新しいウイルスに感染する危険性があります。通常、週一度ウイルスデータファイルが更新されますので、更新されたDATファイル(差分ファイル)を入手して、利用されているPCで確実に更新してください。

VirusScanの入手方法や更新方法など詳細な情報はRAINBOWホームページでご案内しておりますのでご覧ください。(情報システム課)

INFORMATION

修学館閲覧室(1階)・人文系文献資料室(地階)は 土曜日にも利用できます。

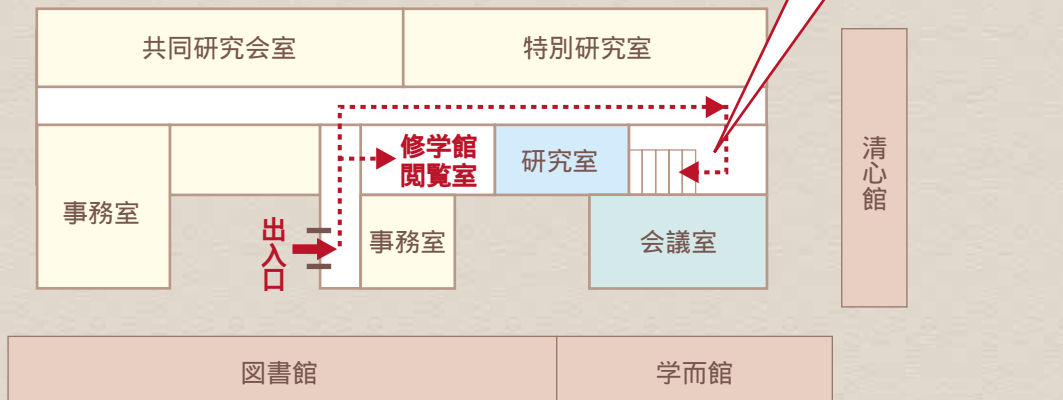
2001年11月10日(土)より、衣笠キャンパスの修学館
閲覧室(1階)と人文系文献資料室(地階)は土曜日にも開室
しています。
教職員証・学生証・ライブラリーカードを入口(下図参照)
のカードリーダーに通して入室してください。
(土曜日の出入口はこの一ヶ所だけです。)



開室時間

月曜日～金曜日…… 9:00～20:00
土曜日……………10:00～17:00

【修学館1階】



注意 図書館間相互協力に基づく学外利用者が修学館を利用される場合は、
衣笠図書館のカウンターへ申し出てください。

衣笠図書館、メディアセンター、メディアライブラリー

特別館外 貸出期間 のお知らせ

修学館、人文系文献
資料室は除く

試験期特別館外貸出期間 **2週間** **5日間**

試験期間中、館外貸出条件が通常5冊・2週間の利用者を対象に、
貸出期間を5日間に短縮します。
2002年1月7日(月)～1月25日(金)

春期特別館外貸出期間 **5冊** **6冊**

春期長期休暇中は「春期特別貸出期間」を設定します。
館外貸出条件が通常5冊・2週間の利用者が対象です。
貸出冊数を6冊に拡大し、貸出期間も通常より長く設定します。
2002年1月26日(土)～3月15日(金)

特別館外貸出に関する具体的な日程は、各図書館で配布している開館カレンダーや各館のホームページをご覧ください。

修学館 リサーチライブラリー機能充実!!

レファレンスライブラリアンが常駐しています。

2001年の秋から修学館(1階)閲覧室は、リサーチライブラリー機能が強化され、カウンターにはレファレンスライブラリアンが常駐し、研究活動をサポートしています。また、閲覧室は無線LANシステムが整備され、全体が広がっています。ぜひご利用ください。

レファレンスライブラリアンとは?

日々進化するデータベースの世界。私たちは「データベースを駆使して文献を探す」ことで研究支援をおこないます。言ってみれば「デジタル時代の専門的ライブラリアン」です。私たちをぜひ活用してください。

学内在籍の方なら、誰でも無料で自由に使えるコアデータベース。使いこなせば大変便利なツールです。日々の研究活動に役立ててほしいと思います。

データベースの使い方につまずいたら、どんなことでも構いません、私たちに相談ください。教授会や研究会での講習会のご要望もお寄せください。もちろんデータベース以外の相談も大歓迎です。メール(shugaku@st.ritsumei.ac.jp)での質問も受け付けています。

コアデータベースの詳細は<http://www.ritsumei.ac.jp/www-lib/sogo/dbsrv.htm#DB1>をご覧ください。

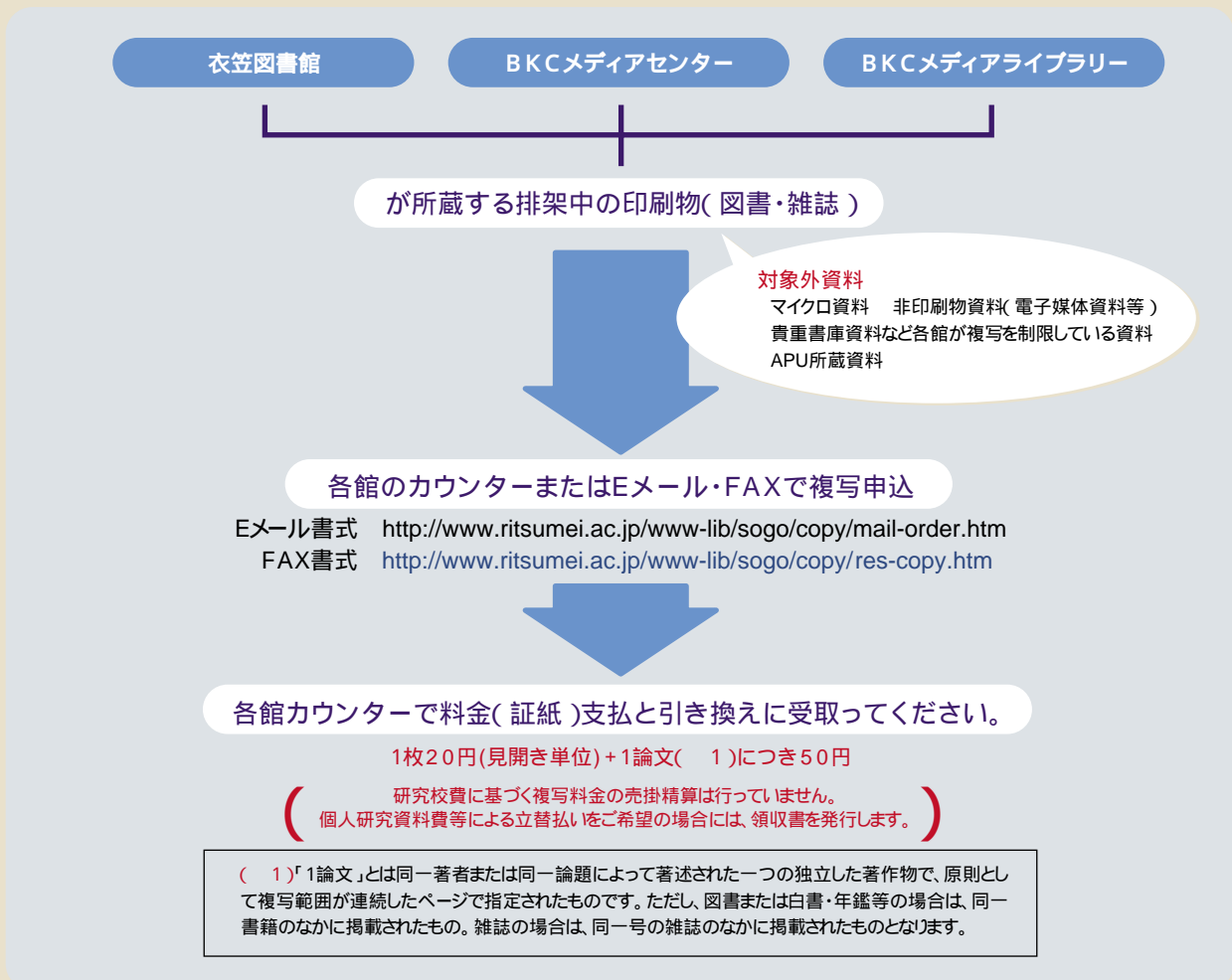


*Reference Counter News Letterを発行しています。ご利用ください。



文献複写代行サービス(専任教員のみ)を実施しています。

総合情報センターにおける研究者サービス強化の一環として、2001年6月1日(金)から、専任教員に対する学内所蔵資料の文献複写サービス(複写作業の代行)を実施しています。ぜひご利用ください。なお、このサービスは著作権法及び関係法令が定める範囲内となります。詳細は総合情報センターホームページ <<http://www.ritsumei.ac.jp/www-lib/sogo/copy/res-copy.htm>> をご覧ください。



ご存知ですか?

データベース代行 検索サービス!!

総合情報センターでは、これまでご紹介してきたように、「コア・データベース」として、図書館内はもちろん、学内や個人研究室、自宅等インターネットに接続できる環境さえあれば、いつでも、どこからでも利用できる学術情報データベースサービスを、学生・大学院学生・教員に対して無料で提供しています。しかし、本学が提供しているデータベース・サービスは、これだけではないことをご存知でしょうか。すなわち、各図書館のカウンターで代行検索サービスを通じて利用提供しているデータベース・サービスもあるのです(別表参照)。これらのサービスを利用する場合は、利用料(実費)の3分の1相当額を利用者に負担していただく必要がありますが、「CHINA3」と無料配信されている「データベースれきはく」は除く、「コア・データベース」からだけでは得ることが困難で極めて有用な学術情報を非常にたくさん入手できます。今回は、そのなかで最も代表的なデータベース・サービス「NACSIS-IR」についてご紹介しましょう。

NACSIS-IRの概要

NACSIS-IRとは、国立情報学研究所(旧学術情報センター、以下「NII」)が提供する文献情報、学術情報などのオンライン情報検索サービスです。NIIは、Webcat(大学図書館目録検索)を始めとして、NACSIS-CAT/ILL(目録所在情報サービス)、NACSIS-ELS(電子図書館)、NACSIS-OLJ(オンラインジャーナル編集・出版システム)等のサービスを提供しています(NIIホームページ <http://www.nii.ac.jp/index-j.html>参照)。

NACSIS-IRの特徴

NACSIS-IRでは58種類のデータベースを提供しています。種類としてはNIIが作成するもの(引用文献データベース)や国内、海外のデータベース製作会社から導入しているもの(国立国会図書館の雑誌記事索引やScience Citation Index Expandedなど)、受入データベース(研究者ディレクトリー)などです。そのひとつひとつはご紹介できませんが、雑誌記事索引やScience Citation Indexのような著名なものから、NACSIS-IRにしかないユニークなものまで多種多様です。活用法として、たとえば「研究の最新動向は?自分と同じ研究をしている研究者は?参考となる文献をなるべく早く入手したい、研究テーマについての現在までの論文は?」などなどです。ぜひ一度試してみたいかがでしょう。

NACSIS-IRの利用方法

このデータベースは、どの図書館でも代行検索で提供しています。データベースの特長をよく理解して、最寄の各図書館窓口に申込んでください。なお、本学の専任教員の方については、利用申請書をNIIに提出すれば、校費(科学研究費補助金等)扱いで直接利用することもできます。利用申請書の用紙は、NIIのホームページ(<http://webfront.nii.ac.jp/>)からダウンロードできます。

代行検索によるデータベース・サービス一覧

タイトル	対応領域	参照URL	サービス提供館
NACSIS-IR	学術情報全般	http://www.nii.ac.jp/ir/ir-j.html	すべての図書館
NACSIS-ELS	学協会文献イメージ情報	http://www.nii.ac.jp/els/els-j.html	衣笠図書館 メディアライブラリー メディアセンター
LEX/DB International	法律文献情報	http://www.tkclx.ne.jp/	衣笠図書館
国文学研究資料館データベース	国文学関係の学術文献情報	http://www.nijl.ac.jp/databases/databases.htm	衣笠図書館
データベースれきはく 無料	日本歴史・民俗学文献情報	http://www.rekihaku.ac.jp/doc/t-db-index.html	衣笠図書館
CHINA3 for WWW 無料	東洋学文献情報	http://www.kudpc.kyoto-u.ac.jp/Services/DataBaseServices/china3.html	衣笠図書館
DIALOG Web	海外学術情報全般	http://www.dialogweb.com/	衣笠図書館 メディアセンター
G-Searchデータベース	新聞記事・雑誌記事情報	http://db.g-search.or.jp/	メディアセンター
JOIS	科学技術文献情報	http://jois.jst.go.jp/	メディアセンター
STN international	科学技術の海外文献情報	http://stnweb-japan.cas.org/	メディアセンター
CAS Online	化学関係の海外文献情報	http://stnweb-japan.cas.org/	メディアセンター